



# 令和6年度仙台市職員採用セミナー

Self-introduction

職 種	大学卒程度・事務
採用年度	平成31年度(令和元年度)
所 属	こども若者局こども支援給付課

# 1

## 自己紹介

### 出身

宮城県仙台市

### 経歴①

平成31年3月 大学卒業

### 経歴②

平成31年4月 仙台市入庁 若林区保護課に配属

### 経歴③

令和4年4月 子供未来局 子供支援給付課に異動

### 経歴④

令和5年4月 こども若者局 こども支援給付課に組織改正



## 2 志望動機

### なぜ公務員を目指したのか？

- 教育や子育て支援に行政の一員として携わりたかったから
- ライフステージの変化に関わらず働きやすいと思ったから



### なぜ仙台市に入庁したのか？

- 生まれ育った仙台市をもっと魅力あふれる街にしたいから
- 政令指定都市で大きな仕事も市民との関りもどちらも経験できると思ったから



### 3

## 配属先での業務

### こども若者局こども支援給付課

- 各種プランに基づき、ひとり親家庭に対する支援や子どもの貧困対策などを推進する。
- 児童手当や子ども医療費助成等、子育て家庭に向けた給付、助成を確実に実施できるよう、適切に制度運用を行う。

### 担当業務

- ▶ ひとり親家庭向けの相談窓口や支援制度の整備
- ▶ 子ども食堂やサードプレイスなどの子どもの居場所づくり支援
- ▶ 課内庶務・広報・国や県への補助金申請業務

など





## 大変だったこと

- ▶ 新しい事業や継続を検討する事業について庁内外の関係者に納得してもらうこと
- ▶ 支援が必要な人ほどなかなか支援に繋がりにくく、そのような方に支援を届けること

## 仕事のやりがい

福祉に関する仕事はすぐに結果が出ず、厳しいご意見を頂くことも多いですが、「ありがとう」や「助かった」という言葉を聞いたとき、複雑な問題が少しずつ解決に向かったとき、そして何よりも子どもたちのキラキラした笑顔を見たときにやりがいを感じます。



## 4 入庁前に抱いていたイメージとのギャップ

### ギャップ①

▶ 事務職は「お堅い」イメージだったが、気さくで話しやすい方や明るいや、物静かに見えても話してみると面白い方が多いこと

### ギャップ②

▶ 事務職といえども事務処理だけではないので、市民対応や庁内外との調整のためのコミュニケーション能力がとても重要なこと

## 5 ある1日のスケジュール

AM

8:30

出勤・メール確認

10:00

電話対応

9:00

事務作業

11:00

上司に相談

PM

12:00

お昼休憩

14:00

事業者と打ち合わせ  
現地見学

13:00

局長の決裁時間

17:15

退勤



## 6 ワーク・ライフ・バランス

取得した休暇制度など

有給休暇(R5:20日)、錬成休暇(R5:5日)など

### 休日の過ごし方

おいしいものを食べる・飲む、ドライブ、旅行、歌を歌う(カラオケ、アカペラなど)etc…好きなことをして、楽しく過ごしています。

同期や同僚と一緒にごはんを食べたり、旅行に行ったりすることもあります。





## 7 参加者へのメッセージ

公務員は業務が多岐に渡るので、  
様々なことにアンテナを張っておくことが大切です。

≡なんでもおもしろがれることが重要!

皆様と一緒に働けることを楽しみにしております!!

2028 仙台市役所本庁舎建替(予定)





皆さまのご応募お待ちしております！